

那覇国際高等学校

学校だより 第8号



English Speech Contest!

熱弁！

校内弁論大会！



最優秀賞
喜納一翔さん(3年9組)



優秀賞
稲福梨冬さん(2年3組)



優秀賞
ディミトリエヴィッチ
波夷羅さん(1年9組)



校内弁論大会
(7月9日実施)

最優秀賞
喜納一翔(3年9組)
"Heal the World"
優秀賞
ディミトリエヴィッチ
波夷羅(1年9組)
「日本語コミュニケーション」
優秀賞
稲福梨冬(2年3組)
「多様性ばかりで
しんどいけど」



左写真
第1位



右写真
第2位



右写真
第3位



左写真
特別賞

校内英語弁論大会
(7月15日実施)
第1位
狸塚 杏(3年4組)
第2位
東恩納沙奈(2年9組)
第3位
島袋陽菜乃(2年9組)
特別賞
チェスター・オリビア(3年9組)

ラオスの方々を招き 国際理解教育！



7月11日、コーヒーの生産に取り組んでいるラオスの方々を本校に招いて、国際理解を深める講座が開催されました。ラオス南部の山岳地帯にある少数民族の村のコーヒー生産者や行政職員など6名が村の写真を見せながら、村での暮らしの実情等を紹介しました。

今後の行事予定

- 7月
18日(金) 2学期HR役員選出
19日(土) 全統共通テスト模試(3年必修)
22日(火) 三者面談①
夏期前期希望者講座(～31日)
第1回校内大学説明会(～25日)
第1回大学別模試(～25日)
25日(金) 1学期終業式
26日(土) 夏期休業(～8月25日)
- 8月
6日(水) 学校閉庁日(～8日)
11日(月) 山の日(公休日)
18日(月) 夏期後期希望者講座(～22日)
25日(火) 2学期始業式 HR役員認証式

香港生徒と交流会



香港の高校生22名が6月30日、本校へ来校しました。一行は、ランチタイム交流や授業体験、校内施設見学等を通して、本校の生徒たちと交流を深めました。11月中旬には、香港から別の学校の生徒20名が来校を予定しています。

アーチェリー九州大会団体3位！



「全九州高等学校体育大会アーチェリー競技大会」が6月22日、23日の両日、佐賀県にて開催されました。本校女子アーチェリー部は県代表として出場し、強風に苦戦しながらも健闘し、団体3位となりました。8月には山口県にて開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に県代表として出場します。

名言・名句

You can't get away
from yourself
by moving
from one place
to another.



いろいろな場所に旅をしても、
自分から逃げることが
できない。

【解説】

これはアメリカ合衆国の小説家・詩人であったアーネスト・ヘミングウェイの言葉である。主な小説には、「老人と海」、「武器をさらば」、「誰がために鐘は鳴る」、「日はまた昇る」などがあり、1954年にノーベル文学賞を受賞しました。



合格体験記 7 (横浜国立大学経営学部 経営学科 一般プログラム)

(1) この大学(学科)を選んだ理由

私が、横浜国立大学経営学部経営学科一般プログラムを志望したのは私の地元である沖縄県の観光業を変え得るマーケターになるという目標を叶えるためである。私の理想のマーケターの1人に「森岡毅」さんがいる。森岡毅さんが、データを多角的に分析し、沖縄の観光業の打開策として新たなテーマパークを挙げた姿に感動し、自身が故郷の沖縄についていかに無知であるか痛感した。そこで、経営学、会計学、マーケティング、ファイナンスといった様々な分野の知識を使い、沖縄の観光企業が抱える問題を多角的に分析し、解決法を思考する学問を学びたいと考えたようになった。

(2) 高校在学中の勉強方法について

高校在学中では、受験に使う教科において基礎を大事にしていた。なぜなら、共通テストや二次試験では発展の内容が出るため、学校の課題、定期テスト、単元テスト、模試レベルの問題は押さえておかないと本番も厳しいと考えていたからです。1日の流れとしては、通学時間中は必ず英単語帳や古文単語帳を持ち歩いて、予習・復習を行っていました。授業中は、出来るだけ寝ずに、インプットを主にし、高校3年生時には、アウトプットや既習範囲の復習にシフトチェンジしました。高校1年の2学期までは横浜市立大学国際商学部を第一志望にしており、以降は横浜国立大学経営学部経営学科一般プログラムに志望変更しました。高校3年の6月に部活を引退した後は、一般入試も視野に入れつつ学校推薦型入試の対策も徐々に始めていきました。

(3) 後輩へのアドバイス

横浜国立大学経営学部経営学科一般プログラムの学校型推薦に向いている人は、推薦で落ちてでも一般で合格できる学力を持っている人、面接などの人前での発言に対して自信がある外交的・社会的な人、一般の勉強と並行して経営学について勉強できる人です。正直にいうと、試験内容の小論文と面接がかなり負担が大きいので、高校の推薦入試とは全く違い、一般入試に向けた勉強との両立がかなり大変です。自分自身も、高校2年の3月時点で横国の経営にB判定を出し、学力的には少し余裕があったので、初めは推薦に落ちてでも、一般で受かればいいという甘い考えで申し込みました。しかし、実際に蓋を開けてみると、試験1ヶ月前からは推薦入試の対策に追われ、ほとんど一般入試に向けた勉強はできず、もし推薦入試に落ちていたら、メンタル的にも学力的にも横国の経営に一般では合格できなかったと思います。自分が受験を経験し、受験に一番必要なのは「強靭な精神力」だと感じました。受験のプレッシャーに耐えながら毎日勉強し、推薦の前後は少し精神的に病んでしまったので、たまには息抜きも必要だと思います。自分も最終的には、「受験に落ちて死なない」という精神で割り切って受験をのりこえられました。

本校25期生(令和7年3月卒業) 男性